

「LED付音響装置で優しい街に！」

大阪市視覚障害者福祉協会
東住吉区分会長 西村登代子

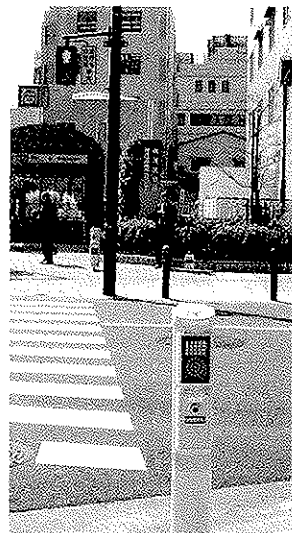
昨年10月、篠原電機(株)の「高齢者・視覚障害者用LED付音響装置」のデモ機による体験会を、大阪市立早川福祉会館のご協力をいただき、東住吉分会で開催いたしました。地元の東住吉警察署交通課の方にもご参加いただきました。

「LED付音響装置」とは、高齢者・視覚障害者が安全に交差点を横断できることを念頭に開発された「歩行者信号機の補助信号機」です。形は、高さ1m16cm・直径16.5cmの黄色のゴム製ポールです。ポールのキャップ面には点字で位置情報が明示されています。ポールの歩道側には、高さ1mの位置に上が赤色長方形、下が青色丸型のLED信号が付いており、その下に押しボタンスイッチがあります。また、車道側にも同じく赤色長方形、青色丸型のLED信号とスピーカーが付いています。押しボタンスイッチを押すと夜間・早朝は一定時間音声が出ますし、青信号の時間の延長にも使用できます。

この「LED付音響装置」は横断歩道の手前に設置されているので、目前に鮮やかなLEDの青や赤が輝き、弱視の私にとっては、遠くの信号機を探したり、西日に悩まされることも、車道側の信号をみる必要もなくなります。色弱の人は、赤が長方形・青が丸形という形の違いで判断できるので横断歩道を安全に渡ることができます。また、横断歩道の向こう側にある「LED付音響装置」も目線より少し低い位置にあるのと、LEDが使用されているので色が鮮やかで確認しやすかったです。

私は、視力が少しでもある限り、自分の目で確認したいです。この「LED付音響装置」は、全盲の人が必要とする音声は出ますし、弱視の人が見やすいLEDも手元に付いているので、両者が必要とするものが備わっていると思いませんか。交通課の方も「手元にあるので、高齢者や子どもの目線にも見やすいですね。」とおっしゃっていました。

視覚障害者が安全に安心して歩ける街は、すべての人が安全に安心して歩ける街です。一日も早く「LED付音響装置」を設置してもらえように、みんなで声を出しませんか。関心のある方は、是非一度お友達を誘って体験会をしてみてください。きっと感動しますよ。みんなで優しい街に変えませんか！



*体験会などの問合せは、
篠原電機株式会社・事業推進室の兼崎暁美(かねさきあけみ)さんまで (TEL 06-6358-2657)
(FAX 06-6358-2351)

mail: kanesaki@shinohara-elec.co.jp
URL http://www.shinohara-elec.co.jp

We Love Communication

ウィラブパンフ普及運動にたくさんのご協力をください。

情報・コミュニケーションは生きる権利です。聴覚障害者だけでなく、目の見えない人や知的障害の人など、たくさんの人々が情報とコミュニケーションの支援を必要としています。

ろう者、難聴者・中途失聴者、盲ろう者それぞれの仲間たちで組織する障害当事者団体と、手話通訳・要約筆記の支援者団体で構成する「聴覚障害者制度改革推進中央本部」が、このたびパンフレットを発行しました。

このパンフレットは、「聞こえない、聞こえにくい」とはどういう障害か、情報・コミュニケーション保障の大切さ、そして、私たちの要望を一人でも多くの皆さんに理解して頂こうと発行したものです。このパンフレットで学んで頂くとともに、一人でも多くの方々に聴覚障害者への理解を広めていってほしいと願っています。(全日本ろうあ連盟ホームページから抜粋)

大阪市聴言障害者協会・各区聴言障害者協会が現在、普及に取り組んでいます。大阪市聴言障害者協会ではパンフレット7220冊(1冊300円)、署名2400枚(1枚10名記入)。各区聴言障害者協会に配布しておりますので、購入と署名にたくさんのご協力をお願いします。今年8月末までになっています。



第25回 障害者による書道・写真 全国コンテスト結果

9月号で募集しましたコンテストの審査結果をお知らせします。今回、全国で954点の応募があり、入賞作品92点が決定しました。市身協からは、書道部門に2点、写真部門に1点応募しました。その中から、書道部門で中田新一さんが銀賞を受賞されました。おめでとうございます。

来年度は、より多くの方の応募をお待ちしています。

募集の時期になりましたら、機関紙に掲載させていただきます。